

園芸学研究科学位授与の方針

(博士前期課程)

博士前期課程では、学士課程で築いた基礎の上に、以下の知識・能力を修得する。

「自由・自立の精神」

「理論と実践」を旨とする園芸学研究科の伝統を踏まえ、「食と緑」に関わる課題に対して、柔軟な思考能力と深い洞察に基づき、主体的に行動できる。および研究倫理を身につけている。

「地球規模的な視点からの社会とのかかわりあい」

国内外の多様な文化・価値観、社会、自然、環境について理解し、国内外の社会と連携して活動する際に基礎となるグローバルな視点からの柔軟な思考能力とコミュニケーション能力を修得している。

「専門的な知識・技術・技能」

「食と緑」に関わる専門分野の深い学識に加えて、学際的で幅広い視野に立った学識を持ち、それを活かして直面する課題の解決に向けた柔軟な思考と深い洞察が行える。それによってイノベーション創出をめざし、先端をリードする志向を有す。

「高い問題解決能力」

高度な専門的知識・技術を要する「食と緑」に関わる課題を、関連する分野の知識・能力を統合・整理し、他者とも適切に連携を図りながら解決できる。

(博士後期課程)

博士後期課程では、博士前期課程までで築いた知的基盤の上に、以下の知識・能力を修得する。

「自由・自立の精神」

「理論と実践」を旨とする園芸学研究科の伝統を踏まえ、「食と緑」に関わる研究者や大学教員あるいは研究・行政等の組織統括者として、自ら研究課題を設定し、自立した研究活動を行える。および社会に対する科学者としての責任の自覚と研究倫理を身につけている。

「地球規模的な視点からの社会とのかかわりあい」

グローバルな視点を持ち、国内外の社会と連携して自ら課題を設定し、自立的な研究開発を行うことができ、その成果を国際的・学際的に発信できる。また、教育研究者あるいは国内外の機関の指導的人材として活動するための基礎として、多様な文化・歴史に対する理解がある。

「専門的な知識・技術・技能」

「食と緑」に関わる創造性に富む高度な研究・開発能力と豊かな学識を持ち、新たな知見や価値の創出に貢献できる。また、幅広い専門的知識や研究遂行能力を活かして、高度な研究開発プロジェクトの企画・管理等を行うことができる。それによってイノベーション創出をめざし、先端をリードする志向、経営的視点も身につける。

「高い問題解決能力」

「食と緑」に関わる課題を見出し、専門分野・関連分野の情報・知識を活用しながら、他者と協調・協働し、知識基盤社会を支える新たな知見や価値を創出することができる。